



令和四年
新年のごあいさつ
公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会
理事長 和田 修

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍での生活も、2年が経とうとしていますが、皆様方におかれましては、感染予防に万全を期されて日々お過ごしのことと存じます。

昨年は、ほぼ一年を通して新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた年でしたが、当協会としましては、オンライン等も活用して、様々な事業を実施し、障害者の福祉の充実と向上、社会参加の促進に取り組んでまいりました。



令和四年新春メッセージ
躍動する兵庫、
コロナを乗り越え
未来へ
兵庫県知事 西藤元彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスが私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしましたが、県民・事業者・医療関係者の皆様のご協力により、第五波を乗り越えることができました。

しかし、感染再拡大のリスクは続きます。マスク着用、手洗い、「密」の回避など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いします。県としても、保健所や医療提供体制の強化、三回目のワクチン接種の推進など、対策に

国においては、昨年、障害を理由にした差別を禁じる「障害者差別解消法」が一部改正され、民間事業者による合理的配慮提供の義務化、国及び地方自治体の連携協力の責務の追加等が盛り込まれるなど、年々、障害者にかかる様々な制度改革や法整備が図られてきているところですが、まだまだニーズに対応できているとは言い難く、障害者に対する様々な差別が依然として残っているというのが現実であり、その解消のためにも今まで以上に積極的に活動を展開していくことが求められているところです。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、希薄になった人と人の絆を取り戻し、誰一人としてとり残さない社会、一人一人の個性と多様性が尊重され、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に向けた取り組みをさらに強力に推し進めていくことが重要であります。障害のある私たちは、「私たちのことを私たち

万全を期します。

同時に、「ワクチン・検査パッケージ」等も活用しながら、飲食、旅行、イベントなど、社会経済活動との両立も図っていきます。

さらに今年には、ポストコロナ時代を見据えた取組を本格的に検討・推進する年とします。

その一つは、時代の潮流であるデジタル化やグリーン化の加速。デジタル技術を、働き方、教育、医療・介護、地場産業や農業など様々な分野で取り入れるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大や水素の活用などの地球温暖化対策に力を入れます。

また、少子高齢・人口減少社会への対応や、頻発化・激甚化する自然災害への備え、交流と日常生活を支える道路ネットワークの整備など、すべての県民の皆様が安心して、育ち、働き、暮らし続けられる、だれも取り残さない兵庫づくりを進めます。

抜きに決めないで」という障害者権利条約の精神で、障害当事者の立場から主体的に地域社会の中で障害理解の発信者として、障害に対する正しい理解と差別や偏見を生まない意識を育てていくために行動していくことが大切ではないかと思えます。

そして、障害者も社会の一員として自立し、誰もがどこでも安心して暮らせる社会の実現に向けて、全国の障害者や福祉団体とのネットワークをさらに強化し、障害者の社会参加・福祉の向上のため、直面する諸課題の解決に取り組みたいと思います。

最後に、今年一年も、当協会の活動に対しまして、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様方にとりましてより良い年になりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

大きなポテンシャルを持つベイエリアの活性化にも本腰を入れます。二〇二五年大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む大きなチャンスです。更なる発展の起爆剤とすべく、ベイエリアプロジェクトの起動、万博の来場者を県内各地へ誘うフィールドパビリオンの具体化など、新たなチャレンジをしていきます。

もとより、こうした取組は行政だけでできるものではありません。民間との連携をこれまで以上に広げていきます。また、私自身が県内各地で地域の皆様と対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ボトムアップ型県政を推進します。

「躍動する兵庫」の実現に向け、飛躍の一年としていく決意です。皆様のご理解、ご支援をお願いします。

兵庫県障害者福祉大会が開催されました

去る11月28日(土)、神戸市文化ホールにおいて、令和3年度兵庫県障害者福祉大会が、県下の身体障害者、知的障害者、精神障害者とその団体の関係者などの参加を得て盛大に開催されました。

障害者福祉大会では、永年にわたり地域の身体障害者団体の育成強化等に多大な貢献をされた方々へ当協会の理事長表彰が行われました。

受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

■地域身体障害者団体育成功労者表彰を受けた19名

吉田 省一	島山 和浩
石田 秀樹	畑 史郎
香下 守義	山田 秀子
土岐 信次	荻野 均
岡田 政代	中島小夜子
佐藤 政明	片岡 繁樹
長谷川昌寛	寺坂貴美子
中村 智恵	西山 次男
丸本 伸幸	横山富美代
西岡 甚一	

■地域身体障害者支援功労者表彰を受けた1名

山本富久雄

■ボランティア貢献感謝を受けた3名

黒田 寛治 夜久慧美子
岩本美和子

オープニングでは、和太鼓の響きに始まり、手話落語を行いました。

ご参加頂きました地域団体、開催にご尽力いただきました関係者の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

日身連収益事業にご理解とご協力を!

日身連収益事業所は、兵庫県身体障害者福祉協会と連携し、県内各市町の身体障害者福祉団体のご協力をいただきながら、収益事業(カタログ回覧による物品販売)を行っています。

皆様のご協力で得られた売上収益の一部は、障害者福祉事業の活動資金としてご活用いただくため、県と市町身体障害者団体へ分配しております。

今後とも引き続き「日身連収益事業」へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会収益事業所(通称:日身連収益事業所) 大阪支所
電話(0120)2631323

「みんなの声かけ運動」推進員地域会議を開催しました

みんなの声かけ運動推進員の活動を活性化させるため、県内三か所で交流会を開催しました。

今年度は「声のかけかたを考えよう」をテーマに、障害当事者を「パネラー」として招き、座談会形式で話し合いました。

会場ごとに視覚・聴覚・肢体義足・車いすなど、それぞれの障害をもつ推進員と、ボランティアや障害者のサポート活動をしている推進員が参加して、活発に意見交換が行われ、お互いの立場から、「声のかけかた」についての考えやよりよい運動にしていくなめアイディアが出し合われました。

「声をかける」のは勇気がいります。しかし、声をかけてもらった方はとても嬉しい、それを知ってもらいたい。また、サポートを受ける側も「声をかけていく」ことが必要です。

そして、自分の身の周りでも、お互いに「あの人はここが悪い、これが辛い」と伝えあい、助け合える環境を作っていく。そうやって自分の状態を発信していくのも「声かけ運動」のひとつであるという意見も出ました。まずは挨拶から、近所やコミュニティで声をかけあい、知り合っていくことが、「声かけ」をしやすい環境を作っていくこととなります。

また、これからの兵庫をもっと良く

していくために、出前講座等による子どもたちへの障害者教育の大切さ、健常者と障害者がお互いを知ることができきる組織づくりの大切さについても話題に上りました。その中で、地域ごとの取り組みも知ることができました。

声をかける側もかけられる側も、お互いが気持ちよくできるよう心掛けることが大事です。そのためには、相手への理解が欠かせません。そして、その考えを共有する「みんなの声かけ運動」の推進員が増えていくことにより、お年寄りも子どもたちも、みんなが安心して出かけられる街になっていきます。一人一人が頑張つて、この運動を広げていきたいと、皆で鼓舞し合うことができました。

開催日時・場所

11月30日(火) 13:30~14:30
加古川市総合福祉会館

12月10日(金) 13:30~14:30
姫路市総合福祉会館

12月14日(火) 13:30~14:30
丹波篠山市立四季の森生涯学習センター



「みんなの声かけ運動」ポスター・絵画作品の紹介

誰かが困っていたら、皆が声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」
 この運動を地域の皆さんに広く知ってもらい、考えるきっかけになるよう、兵庫県内の
 小学生～高校生にポスター作品を募集したところ、
 多くの素晴らしい作品が寄せられましたので、ご紹介します。
 今年度のテーマは「街なかで障害者をみかけたら…」です。



日高小学校
宮岡 杏奈



神戸市立小寺小学校
西原 更紗



神戸市立小寺小学校
水雲 春花



神戸市立小寺小学校
岩永 愛佳



神戸市立小寺小学校
山本 音



神戸市立東山小学校
滝田 灯



神戸市立東山小学校
峠 美里



神戸市立東山小学校
小西 魅人



神戸市立小東山小学校
篠原 楓華



神戸市立つつじが丘小学校
中野 力駆



アトリエラフラフ
石井 百萌



日高小学校
長瀬 風憂香



神戸市立小寺小学校
森山 蓮翔



神戸市立小東山小学校
鹿村 旭駆



アトリエラフラフ
河内 紗良



宝塚市立高司中学校
山崎 琴音



宝塚市立高司中学校
藤原 凜歩



宝塚市立高司中学校
碓 聡美



姫路市立菅野中学校
福田 莉央



神戸市立東落合中学校美術部
杉本 優



神戸市立東落合中学校美術部
竹内 和納子



神戸市立東落合中学校美術部
形岡 なみか



神戸市立東落合中学校美術部
川畑 侑音



神戸市立東落合中学校美術部
安井 真優



神戸市立東落合中学校美術部
和田 桃香



神戸市立東落合中学校美術部



神戸市立東落合中学校美術部
野崎 慈月



神戸市立東落合中学校美術部
福田 莉苑



神戸市立東落合中学校美術部
藤原 歩美



播磨南中学校
松田 鈴恵



甲南女子中学校
廣瀬 佳歩



甲南女子中学校
谷口 彩弥



甲南女子中学校
山本 実優



甲南女子中学校
坂口 梨香



甲南女子中学校
三輪 香漣



甲南女子中学校
坂東 華怜



甲南女子中学校
成尾 明日花



甲南女子中学校
阿部 瑞樹



甲南女子中学校
梅村 真帆



甲南女子中学校
風間 美音



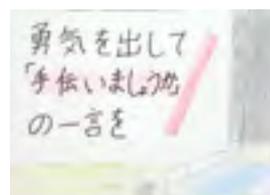
甲南女子中学校
砂子 愛裕美



甲南女子中学校
多月 空



氷上西高等学校



須磨ノ浦高等学校
松久 絢



須磨ノ浦高等学校
池田 七望



須磨ノ浦高等学校
毛呂 咲月



須磨ノ浦高等学校
増本 茉莉子



須磨ノ浦高等学校
塚北 奈菜子



須磨ノ浦高等学校
菅原 蛍



須磨ノ浦高等学校
梅田 陽香



須磨ノ浦高等学校
秋吉 咲花



皆様、ご応募ありがとうございました。

令和4年度に向けての要望

当協会は、令和4年度に向けて、障害者福祉のさらなる充実を図るため、兵庫県に対して、次の通り6項目を要望いたしました。

1. 身体障害者福祉施策の充実

身体障害者の福祉が停滞することのないよう、制度・施策の充実・向上を目指してください。

2. 心のバリアフリーの推進

誰もが暮らしやすい共生社会の実現に必要な、心のバリアフリーについて、①障害の社会モデル ②差別的禁止と合理的配慮 ③想像と共感 の3要素を理解するため、より充実した啓発・促進をお願いします。具体的には差別的事例や対処法の紹介、合理的配慮アドバイサーの利用法の周知、また障害者週間を利用した効果的、実践的な普及啓発の実施をお願いします。

3. 障害者の社会参加促進のためのIT活用の推進

障害者の社会参加を促進するため、IT機器は、視聴覚障害

者の情報保障や重度障害者、在宅就業障害者等に活用されていますが、IT機器を使いこなすことが難しい障害者は取り残された存在となっています。今後ますますデジタル化が促進されることを踏まえ、誰もが取り残されることのないような支援が望まれております。特に、障害者がIT機器を利用する際の助けとなるボランティアの育成等の支援制度を設けていただくようお願いいたします。

4. 災害時の身体障害者の支援や連絡等の周知・徹底

地域で生活する障害者の実態について、個人情報保護の関係上、近隣住民は把握できず、災害時には地域で生活する障害者を取り残されることが想定されます。については、災害対策基本法に基づき、各市町において災害時に支援が必要な障害者等の情報を避難支援関係者に周知・徹底いただき、近隣住民との協働による支援体制の構築に努めていただくようお願いいたします。

5. 障害者の社会生活を支える所得保障

障害者の所得は、「年金収入」と「労働収入」に大別されますが、社会生活を送るに十分な所得を得ているとは言い難い状態です。とりわけ、就労が困難な重度障害者については、「年金収入」以外の経済的支援が必要と見られます。障害者が地域で自立した生活を送れる所得保障に向け、更なる自立支援及び就労支援に尽力いただくようお願いいたします。

6. 公共施設等の自動販売機設置・運営の優先的許可

障害者団体の活動の財源を自助努力で確保することが厳しい現状を踏まえ、身体障害者福祉法第22条（売店の設置）をふまえた公共施設等への自動販売機設置・運営の優先的許可をお願いします。



第28回兵庫県身体障害者ゴルフ大会開催

令和3年10月19日（火）、三木総合防災公園第3球技場において、第28回兵庫県身体障害者ゴルフ大会を行いました。天候にも恵まれ、県内各地から9チームが参加しました。参加人数は、選手36名、介助・ボランティア等15名、スタッフ等26名の77名。コロナ禍での開催でしたが、皆さん、大いに楽しまれ交流を深めることができました。

〈団体の部〉

優勝 稲美町チーム
準優勝 丹波篠山市チーム
第三位 たつの市チーム

〈個人の部〉

優勝 西脇 邦夫（たつの市チーム）
準優勝 山田 豊（稲美町チーム）
第三位 出口 圭子（稲美町チーム）



障害者のための弁護士・福祉専門職無料法律相談

(毎週火・木曜日13:00~16:00)

※祝日・年末年始を除きます。木曜日は兵庫県弁護士会の自主事業として実施しています。



差別や虐待、悪徳商法、財産管理等々。法律に関わる問題について困っていることはありませんか？皆様のお悩みに、弁護士と福祉専門職（社会福祉士・精神保健福祉士等）が三者同時通話システムを使って無料で対応します。

相談対象者：①障害者(本人) ②家族や支援機関の職員 ③行政機関の職員
④障害者雇用の企業担当者等



電話：078-362-0074

FAX：078-362-0084

※法律的な観点からの助言を行うものであり、差別事案等の解決まで保証するものではありません。
※ファクスにつきましては、回答文書作成等のために時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。

※この法律相談は高齢者向け相談と併せて実施しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課

TEL：078-362-9104

FAX：078-362-3911



令和3年10月16日(土) 一般財団法人兵庫県肢体不自由者協会との共催で、車椅子バスケットボール競技の体験交流会を行いました。車椅子バスケットボール選手として過去にイギリス・ス・ストークマンデビル大会をはじめ、世界大会に出場され、現在も実技指導等の講師として活躍されている久保秀男様を講師として招き、競技ルールの説明や車椅子とバスケットの違いなどのお話をお聞きしたあと、久保講師と当協会の安田次長のお二人にデモンストラクションをしていただきました。

参加者の方にはバスケットの試乗やバスケットボールのシユートの体験、介助者にはバスケットの試乗を体験してもらった後、実際の試合映像を視聴してもらいました。

普段、体験出来ないバスケットの試乗やバスケットボールの感触を楽しんでいただき、兵庫県肢体不自由者協会、ボランティアの皆さまのご協力のもと、有意義な体験交流会となりました。

車椅子バスケットボール体験交流会の開催

松葉ガニなら、山陰浜坂で！



カニファミリーコース
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様
(障がい者手帳をお持ちの方)
¥13,750~
(税込)

<お品書き>

カニすき・お造り(甘えび)・カニ味噌・カニ雑炊・フルーツ

浜坂温泉保養荘

おんせんとうまいもんでおもてなし

☎(0796)82-3645

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775

http://www.hamasaka-ni.com/

